

茅ヶ崎市低炭素まちづくり計画

低炭素まちづくりのリーディングプロジェクト
平成29年度の実施状況報告

茅ヶ崎市都市部都市計画課

低炭素まちづくりとは

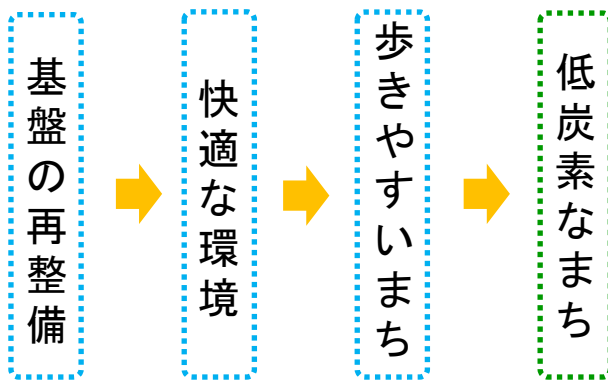
まちづくりが担う温暖化対策の意義

■概要

- 低炭素まちづくりとは

人々の「暮らし」が営まれる「基盤」づくりである。

- ➡ 「基盤」を再整備し、快適な環境が生まれ、歩きやすいまちとし、「低炭素なまち」を目指しています。



■低炭素へのプロセス

基盤整備後、速やかに環境負荷が軽減されるのではなく、人々の心の変化と共に、環境負荷が軽減されるものである。

基盤整備（ハード面）と併せて「人」づくり（ソフト面）にも着目した施策を推進し、環境負荷の軽減の促進を早めるよう努めています。

低炭素まちづくりのリーディングプロジェクト①

将来像

1 歩きやすく、自転車が利用しやすい健康的なまちで暮らす！

①自転車走行空間整備 モデルプロジェクト

■概要

自転車が利用しやすい環境を整え、自動車から自転車利用への転換を促し、CO₂排出量の削減を図る。



ネットワークを意識した、自転車レーンの設置、通行区分の明示等の取組の推進。



■平成29年度の主な実施状況 事業費：3,920千円

- ・鶴嶺通り（矢畑萩園線）、左富士通りに自転車表示を設置（合計700m）
 - ・最乗寺踏切、小出踏切に踏切改良事業の一環として自転車表示
- を設置

幹線道路・踏切における自転車の走行環境が向上。



※凡例 「・」：実施した内容 「→」：実施したことによる成果

- ・レンタサイクル事業の一元化を実施

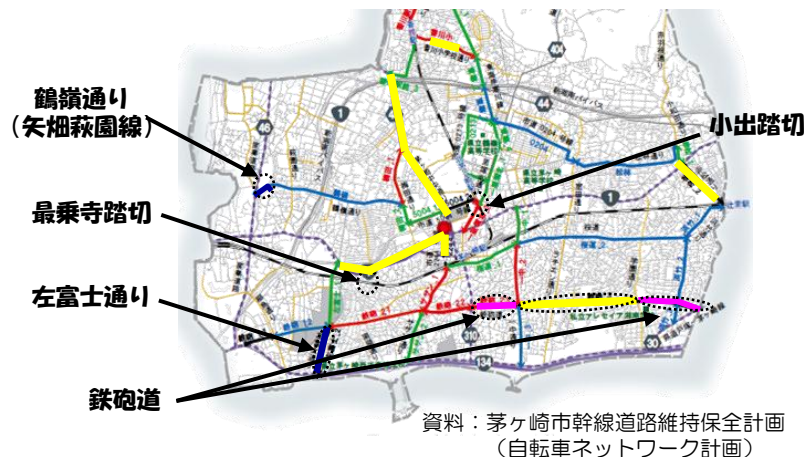
※茅ヶ崎駅構内観光案内所にて受付

- レンタサイクルの情報を一元的に入手しやすいようシステムの改修を実施。



■今後の取組予定

- 幹線道路以外の路線についての整備の検討
- 逆走禁止等、走行方法について周知の徹底
- 茅ヶ崎市幹線道路維持保全計画に基づき、順次整備を推進



整備状況 <凡例> 過年度完了済 平成29年度完了済 平成30~32年度予定

整備優先順位 <凡例> 短期 中期 長期

低炭素まちづくりのリーディングプロジェクト②

将来像

1 歩きやすく、自転車が利用しやすい健康的なまちで暮らす！

②コミュニティバスのサービス充実 プロジェクト

■概要

コミュニティバスの利用環境の充実により、移動手段の確保、地域活動の活性化を図るとともに、日常的な自動車への依存を抑制し、CO₂排出量の削減を図る。



コミュニティバスの利用しやすさ向上の検討による運行改善の推進



■平成29年度の主な実施状況

【コミュニティバス運行 事業費：89,151千円】

- バス停名称の変更及び沿線バス停修繕
「常磐町」⇒「松浪コミュニティセンター入口」
- ➡ 地域のコミュニティバスに対する愛着・理解向上
- バス停の移設「ジャスコ東」
- ➡ 乗降時における利用者の安全性向上

※凡例 「・」:実施した内容 「➡」:実施したことによる成果

• 利用促進

利用促進の一環としてコミュニティバスを用いてキャンペーン活動・コミバスカードの配布等を実施。

➡ コミュニティバスに関するサイトのアクセス数が増加
事業費：350千円

■今後の取組予定

○予約型乗合バスに関するアンケート調査を基に、運行改善について検討、実施



キャンペーン活動



バス停名称の変更



コミバスカード

低炭素まちづくりのリーディングプロジェクト③

将来像

2 高機能で環境負荷が少ないまちで暮らす！

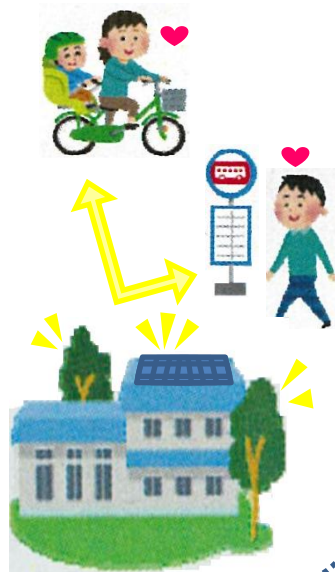
③こころの低炭素化 プロジェクト

■概要

個々の建築物の低炭素化、環境にやさしい移動手段の選択、緑の創出の促進により、CO₂排出量の削減を図る。



なるべく高い環境性能を有する住まいで暮らすようにし、そして、そのような高機能な住まいから出かけるときに自家用車よりも、徒歩や自転車、公共交通を選択する暮らしへと、気持ち、こころの低炭素化を促進する。



■平成29年度の主な実施状況

- 電気自動車購入補助事業(10件)の実施
➡ 環境にやさしい移動手段を推進できた。
事業費：300千円
- 生け垣の築造助成(3件)、新築記念樹配布事業(491本)の実施
➡ 個々の建築物の低炭素化・緑化を推進できた。
事業費：930千円

※凡例 「●」：実施した内容 「➡」：実施したことによる成果

- 低炭素まちづくりに関する啓発活動

(ちがさき環境フェア2017) ・ (ちがさきサポセン☆ワイワイまつり)

- ➡ エコなまちづくりのための行動や仕組みを学べるものとして、市民と共にツールを作成し、低炭素型ライフスタイルの周知を図ることができた。



＜エコまちカルタ＞



■今後の取組予定

- 低炭素型ライフスタイルの周知・啓発

④みんなの大切なみどりをまもる プロジェクト

■概要

現存するみどりの保全をはかり、CO₂吸収量を維持する。



民有地のみどりの維持管理手法や、地域の中、都市の中でのあり方の検討。



■平成29年度の主な実施状況

- 保存樹林36件(約5.1ha)
- 保存樹木24件の助成を実施
(※前年度比 保存樹林：1件増、保存樹木：増減なし)

事業費：36,830千円

- 市街地に残されたみどりの保全に寄与。



■保存樹木 (円蔵地内)

- 「茅ヶ崎市みどりの保全等に関する条例」の施行(平成29年4月)
(「茅ヶ崎市緑の保全及び緑化の推進に関する条例」の見直し)

- 保存樹林の指定条件の緩和、市民緑地制度の導入等、みどりの将来的な存続に向けた取り組みを推進した。

■今後の取組予定

- 「茅ヶ崎市みどりの保全等に関する条例」の運用による、みどりの保全に向けた取り組みの推進(市民緑地の指定など)
- 「茅ヶ崎市みどりの基本計画」の改定(平成30年度予定)において、生活者に親しまれるみどりの保全に向けた取り組みを検討



■保存樹林 (中海岸地内)

低炭素まちづくりのリーディングプロジェクト⑤

将来像

③ みどり豊かで外出したくなるまちで暮らす！

⑤ みんなでみどりを増やすプロジェクト

■概要

緑化を推進し、CO₂吸収量を上乘せする。



公共空間内におけるみどりの配置の推進。民有地内の緑化の促進。



■平成29年度の主な実施状況

- 鉄砲道の街路樹リニューアル（一中通り～ラチエン通り）

事業費：17,122千円

- 公共空間内における歩きたくなるみどりを配置し、歩きたい空間の整備を推進した。

- 生け垣の築造助成（3件）
 - 新築記念樹配布事業（491本）の実施
- 事業費：930千円

- 民有地内でのみどりの創出に寄与。



- 「茅ヶ崎市みどりの保全等に関する条例」の施行（平成29年4月）（「茅ヶ崎市緑の保全及び緑化の推進に関する条例」の見直し）

- 開発行為に伴う緑化基準の適用範囲を、共同住宅以外の500㎡以上の事務所・店舗等の開発行為に拡大し、みどりを創出する機会を強化。

■今後の取組予定

- 鉄砲道の街路樹リニューアルの推進（～平成30年度）
- 中央公園（平成29年度～）、新庁舎敷地内（平成30年度～）におけるみどりの創出
- 生け垣築造助成、記念樹配布事業の見直し（シンボルツリー等の小規模な緑化への支援の検討）



※凡例 「・」：実施した内容 「➡」：実施したことによる成果

整備状況 <凡例> 平成28・29年度完了済 平成30年度予定

低炭素まちづくりのリーディングプロジェクト⑥

将来像

- 1 歩きやすく、自転車が利用しやすい健康的なまちで暮らす！
- 2 高機能で環境負荷の少ないまちで暮らす！
- 3 みどり豊かで外出したくなるまちで暮らす！

⑥20年後、もっと歩きやすくなるためのまち改善プロジェクト

■概要

三つの将来像の実現に向けた特に人々の移動由来のCO₂排出量の削減、みどりによるCO₂吸収量の確保を図る。



歩きやすくなるためのまち改善に向けた、モデル地区での取り組みの推進。

都市再生整備計画

地区名：茅ヶ崎駅周辺地区

計画期間：平成28年度～32年度

目標：環境に優しく豊かな生活が送れる
低炭素まちづくり

※国の支援制度を活用した取り組みの一体的な推進のため、「都市再生整備計画」を作成し、国土交通省の「都市再生整備計画事業」の採択を受けた（基幹事業6事業、国費率45%）。

■基幹事業

地域生活基盤施設
市役所前広場
0.5 ha



■基幹事業

公園 中央公園
4.0 ha



- ・トイレ施設整備(機能拡充)
- ・備蓄倉庫整備
- ・太陽電池発電施設

など

■基幹事業

地域生活基盤施設
公共サイン整備



図解サイン(○)
9箇所
同定・指示サイン(△)
13箇所

○関連事業

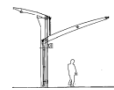
住環境整備事業
茅ヶ崎市役所本庁舎建替え

■基幹事業

高質空間形成施設
地域生活基盤施設



駅前歩行者空間整備
駅前上屋整備
駅前広場整備



○関連事業

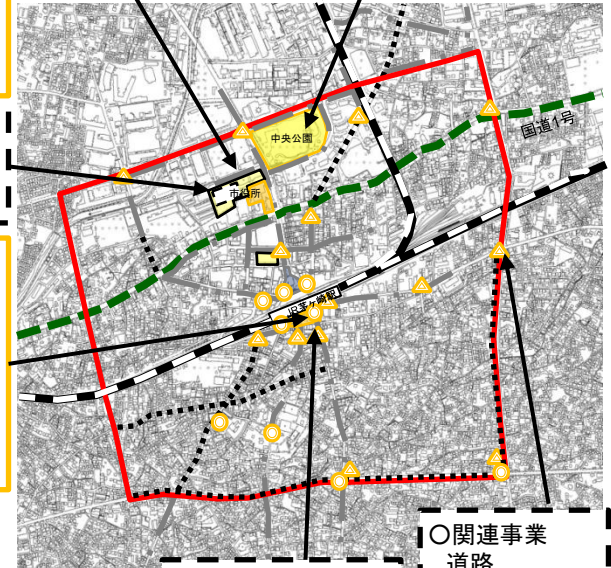
道路 (.....)
(歩行者・自転車走行空間整備)



○関連事業

道路
駅前ロータリー改良

○関連事業
道路
(交差点改良)
L = 58 m



低炭素まちづくりのリーディングプロジェクト⑥

将来像

- 1 歩きやすく、自転車が利用しやすい健康的なまちで暮らす！
- 2 高機能で環境負荷の少ないまちで暮らす！
- 3 みどり豊かで外出したくなるまちで暮らす！

⑥20年後、もっと歩きやすくなるためのまち改善プロジェクト

■平成29年度の主な実施状況

- 公共サインの整備（市内6か所設置）
事業費：11,804千円

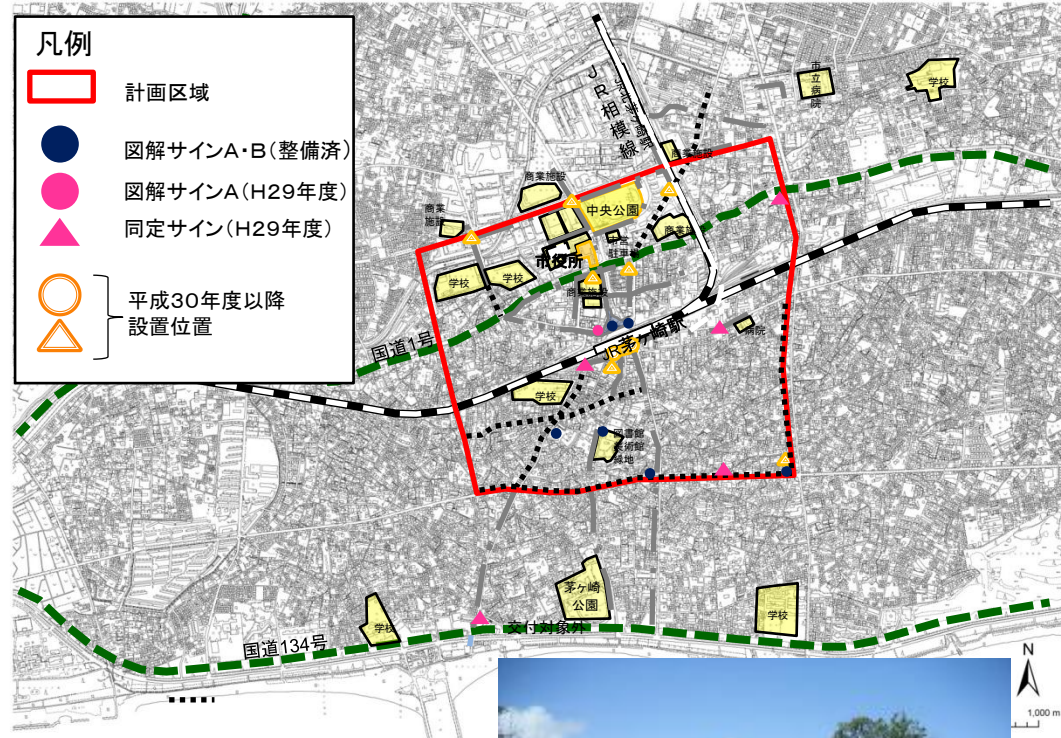
➡ わかりやすい案内表示にすることにより、誰もが歩いて移動してみたい、訪れてみたいと感じられるまちの整備が進んだ。



撮影 柳原美咲

- 中央公園管理棟詳細設計 事業費：8,213千円

※凡例 「・」：実施した内容 「➡」：実施したことによる成果



■今後の取り組み（平成30年度）

都市再生整備計画事業の推進
○中央公園：管理棟の建替え

